

2026年4月24日 第3548回例会

於： 横須賀商工会議所

<点鐘・開会> 12:30 山下 会長

<斉 唱> 「それこそロータリー」

<会長報告> *ガバナー事務所より

・2026-27年度地区委員会委員ご就任委嘱の件について
(追加)

地区奉仕事業推進委員会	委員	比護 友一
-------------	----	-------



<委員長報告> *RA委員会 権田委員長より

国際ロータリー第2780地区第37回ローターアクト地区大会 報告

<幹事報告> *横須賀西RCチャリティーコンサートのご案内について

4月29日(祝) 13:00~ 場所: 大明寺

*例会終了後第10回理事役員会 開催

<出席報告> *出席委員会 浅葉委員から4月24日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
110名	100名	62名(2名)	38名	5名	67.00%

メイクアップ: 岡田(英)、前田 両会員 CLS参加 Enora会員 小田原RC例会出席
小保内会員 地区委員会出席 鈴木(之)会員 被選理事役員会出席

<ニコニコ報告>

・笠木 会員 入会月祝いとして

・三 役 クラブ協議会発表者の皆様、10日のクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー御参加お疲れ様でした。本日の報告、宜しく願いいたします。

・植田、小山(隼)、石田、江口、梁井、高橋(隼)、江沢、角井、徳永、

杉浦、権田、大野(隼)、濱田、藤村、萩原、小佐野、杵渕、土田 各会員

先日のクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーお疲れ様でした。本日の報告よろしく願いいたします。

・比護、八木、井上、小澤、梶木、長尾、森、渡邊、齋藤(隼)、田中 各会員

本日は先日参加をしたクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーの報告をさせていただきます。よろしく願いいたします。

・4番テーブル八巻マスター、石田サブマスター 4月20日(月)にホテルニューポートヨコスカ1階サルースにて4番テーブルミーティングを開催致しました。山下会長、比護SAAにもご参加いただき異国情緒あふれる雰囲気とおいしいお料理を堪能させていただきました。長尾会員お世話になりました。

・木村、齋藤(隼)、長尾 各会員 4月20日(月)4番テーブルミーティングをホテルニューポートヨコスカ1階サルースで開催しました。長尾会員による美味しい料理とお酒で大変盛り上がりしました。石田サブマスター美味しいワインありがとうございました。八巻マスター、石田サブマスターお世話になりました。

・大野(隼)、植田、加藤(隼)、笠木、上林、高橋(隼)、角井、瀬戸、

波島、大野(隼)、濱田、八巻、根岸、小林(-)、田邊、真野 各会員

越川会員が理事長を務めるどぶ板通り商店街が海上自衛隊第2潜水隊群とパートナーシップを締結しました。潜水艦に会える街として隊員が食べている「サブサンド」の提供が始まります。様々な飲食店でグッズの販売もしているので、これからのどぶ板通りに注目ですね。

・小山(隼)、吉住、野坂、高橋(隼)、浅葉、池田、石川 各会員

ヴェルニー公園にてビールイベント・オクトーバーフェストが開催されています。そして、うみかぜ公園でも明日より EARLY FESTA 2026 -Music and Beer- が開催されます。クラフトビールや特設ステージにて様々なアーティストが出演されるそうです。HPなどを確認してお出掛けになられたらいかがでしょうか。

- ・高橋 勲 会員 先週・木曜日に家内が処方箋を飲みアナフィラキシーショックで緊急搬送されました。皆様も薬にはお気を付けてください。容体は……。
- ・山下 会長 6月末のゴールが少し見えてきたせいで、気が緩んだのか、体調を崩して例会を欠席してしまいました。どうやら身体のほうが、会長任期満了を先取りして休みに入ろうとしたようです。関係者の皆様にはご迷惑とご心配をおかけし、申し訳ございませんでした。残りの任期、最後までしっかり頑張りますので、引き続きよろしく願いいたします。

<第3回クラブ協議会> クラブリーダーシップラーニングセミナー報告

◇会長部門 渡邊 磨 会員

4月19日(日)に開催されました「次年度クラブリーダーシップラーニングセミナー(CLLS)」について、私からは全体の流れと学びを報告させていただきます。まずは、貴重な日曜日に一日お時間を割いてご参加いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。部門ごとの学び、他クラブとの交流、そして横バスでの快適な移動(付度なし)も含め、大変有意義な一日となりました。朝9時に横須賀を出発し、夜19時30分に帰着する長い行程ではありましたが、帰路の夕食の場では、当日の振り返りや反省、そして次年度に向けた意見交換を行うことができ、実り多い時間となりました。現地では、12時から全体会議、13時45分から部門別会議、そして16時から再び全体会議が行われました。その中で、前年度・高橋年度のポリオ根絶活動に対し、1,500ドル以上の寄付を行ったクラブとして、感謝状を頂戴いたしましたことをご報告いたします。次年度のR I会長メッセージは「持続可能なインパクトを生み出そう」です。ここでいう“インパクト”とは、ロータリー活動によってもたらされる長期的で好ましい変化のことだと説明がありました。これを受けた地区ビジョンは「繋げよう!変化からインパクトへ」この考え方を軸に、次年度のクラブ運営の方向性が示されました。特に印象的だったのは、会員増強は“人数”ではなく“環境づくり”であるという点です。“入りたいと思われるクラブ”をつくること。そのために、例会の質を高め、学びのある場をつくり、会員同士の信頼関係を育むこと。そうした積み重ねが、出席率の向上や帰属意識につながり、結果として会員増強につながっていくという内容でした。また、会員同士が安心して意見を交わせる、風通しの良いクラブづくりの重要性も強調されました。そのためには、互いのロータリーストーリーを語り合い、相互理解を深めることが大切だということです。「ロータリーに入ってこんな変化があった」「こんな成長があった」と語り合うことで、互いの理解が深まり、クラブの一体感が自然と高まっていくという考え方です。さらに、地区からは 多様性の理解、柔軟な運営、新しい仲間を迎える姿勢、青少年奉仕の強化、寄付への理解促進など、クラブとして取り組むべき重点項目も示されました。今回の CLLS は、次年度に向けた大きなヒントと刺激を得られる研修となりました。今回参加された皆さまが持ち帰ってくださった学びは、必ずクラブ運営に活かされていくと信じております。どうぞ温かく風通しの良いクラブづくりに、引き続きご協力をお願い申し上げます。以上、報告とさせていただきます。

◇会員増強部門 木村 一郎 会員

クラブの活性化や維持存続の為に新会員の入会、獲得そして現役会員の維持は必要不可欠です。当クラブの伝統格式を維持しつつ新会員にも分かりやすくロータリーの意義や結束に重きを置き一人一人の充実したクラブ活動そしてクラブの仲間意識を共有する事をめざします。親睦委員会と協力しながら(一人にさせない)をもっとうに其々のスポンサーとも共有が重要と考えています。特に若い経営者の新会員は時間の制限や服装(作業着での参加)など他のクラブで問題になっている事もセミナーでお聴きました。これらを含めて理解と結束がクラブ全体で共有していきたいと思っております。

会員増強：ロータリー活動の意義、理念を理解して結束出来る会員を求めていきます。

会員維持：親睦、奉仕プロジェクト、情報、各委員会と協力して孤立しないクラブをめざします。

◇奉仕事業部門 比護 友一 会員

奉仕事業部門は「インパクトのある奉仕事業にチャレンジしよう」というテーマで次年度奉仕事業推進委員会新井委員長の挨拶に始まりました。事例紹介として藤沢西RCがロータリー財団の奨学金で留学をした音楽家と湘南国際音楽祭を開催した事例や、平塚湘南RCと平塚北RCとが共同事業でタンザニアへの生理用品の支給や子ども達への性教育を行った紹介でした。藤沢RCではカンボジアの子ども達に口腔衛生指導を行っていて歯の磨き方のも知らない子どもへ歯ブラシの使い方などを13年続けて指導しているそうです。次年度奉仕事業総括アドバイザー 田中賢三パストガバナーより「ロータリーの奉仕とは」というテーマで話しを頂きました。内容はとても楽しく、奉仕の基本は楽しむことを習った気がします。最後にグループディスカッションを行い、各クラブから奉仕事業の紹介をし、他クラブの活動をゆっくり聞ける貴重な時間になりました。来期の活動のヒントにしたいと思います。

◇青少年奉仕部門（青少年奉仕担当） 小澤 長幸 会員

ローターアクトの位置づけは若者を対象としたプログラムで、年齢制限の見直し後は幅広い年代が参加しています。地区内では複数クラブが活動していますが、人数はまだ少なく、拡大の余地があるとされています。活動の特徴は清掃活動、共同事業、ブロック大会、全国研修会などを通じて、若いメンバーが主体的に運営する形となっています。ロータリアンは支援役に回り、若者の企画力や発想力を伸ばすことが重視されています。今後の連携としてインターアクト、青少年交換、ローテックスからローターアクトへとつながる流れを作ることで、地区の会員増強や次世代育成につながるの考えが示されました。今後は他の青少年事業との連携強化も期待されています。ライラと青少年指導者育成の取り組みについて、運営方針についても青少年指導者育成、近年はローテックスやローターアクトが企画に関わる形へ移行していると説明されました。次世代の参加者が次の世代を育てる流れを重視しているとのことです。今後の展開は、全国規模の研究会や地区内の研修を通じて、青少年事業の理解を広げていく方針が共有されました。各クラブにも積極的な参加が求められます。ローターアクトとライラは、次世代リーダーの育成と、青少年事業の継続的な発展に重要な役割を果たしているの、ロータリアンの協力とご支援をお願い致します。

*ボランティア誓約書の改定により、各立場の責任と提出ルールがより明確になりましたので、皆様ご協力のほど、よろしくお願い致します。

◇青少年奉仕部門（IA担当） 田中 由紀子 会員

今週の日曜日に渡辺会長エレクトの元クラブリーダーシップラーニングセミナーに行ってまいりました。私は青少年奉仕部門の研修に参加したのですが、冒頭では主にパワハラ、モラハラ、セクハラなどの危機管理の話が重点的に行われました。ボランティアを含むプログラム参加者の健康と安全を最重要なものとして認識し、危機を予防し、また危機において最善適切な行動をとることで、被害を最小限に抑えなければならないとの話しでした。私は次年度がインターアクト委員長を拝命しておりますが、研修を終えまは提唱クラブとインターアクトクラブの活動の活性化を図りインターアクターのリーダーシップを育む。そしてインターアクターへの社会奉仕と国際理解についての知識と経験を得る機会を提供し将来のロータリアンの育成に努めるという事を念頭に置き活動をしてまいりたいと思いました。

◇R財団部門 長尾 和典 会員

2026年4月19日、小田原で開催されましたClub Leadership Learning Seminar (CLS)にて、Rotary財団部門分科会に参加しました。その概要をご報告いたします。中村太郎VTT委員長の司会で始まり、下記の順に下記のお話がありました。

1. 田島敏久 パストガバナーにより [Rotary 財団について]
2. 杉岡芳樹 パストガバナーにより [Rotary 財団の現状について]
3. 村上進 Polio Plus 委員長 により [ポリオプラスについて]
4. 中村太郎 財団補助金、VTT 委員長により [補助金の種類と配分について]
5. 関口直美 平和 fellow 在団奨学委員長により [平和フェロー財団奨学生について]
6. 鈴木大次 財団資金推進委員長により [財団寄付の目標と推進について]

そして、その後は質疑応答があり15:30に約1時間45分のセミナーが終了しました。

このセミナーの中で、最も印象に残ったお言葉を1つだけご紹介いたします。

それは、田島敏久パストガバナーによるマローニ元R I会長が話された言葉のご紹介でした。マローニ元R I会長は次のように話されました。

「Rotary 活動を車に例えるならば、皆さん一人ひとりから頂いている寄付金はその車の燃料です。燃料があってこそ車が前に進みます。今後とも引き続き Rotary 財団へのご寄付をお願いします。」

◇米山奨学部門 齋藤 眞且 会員

沼澤剛志(つよし)地区米山委員会副委員長の司会により予定より少し早めの13時40分頃スタートしました。先ず部門のリーダーである三荒弘道(みあらしこうどう)前地区米山委員長、ガバナーノミニージェグネットが挨拶とともに米山奨学事業の概要を説明されました。何度も耳にした内容ですが米山奨学事業は米山梅吉氏が始めたものではなく米山梅吉氏の功績をたたえて東京ロータリークラブが提唱した事業であること、米山梅吉氏の生い立ちや人となりなどの解説がありました。次にサブリーダーの米山俊二現地区米山委員長が事業の給付の現況と寄付の現況についての説明をされました。事業の全てを寄付に依存するため寄付は重要であるということです。もう一人のサブリーダーの熊谷勝利地区米山副委員長は米山学友会について故小沢一彦米山奨学会理事長の「学友こそが梅吉翁が目指した世界平和の種である」「学友はロータリーの財産である」という言葉を引用し学友会活動に対する理解を求めました。最後に藤沢南RCのカウンセラーである芳賀信之氏のカウンセラー体験談を披露されましたが急な依頼だったのか写真もなく5分ほど体験談を話して終わってしまい質問も全くなく予定より早めの15時15分に終了しました。

◇ラーニング部門 瀬戸 映男 会員

佐野英之リーダーの基調講演「クラブリーダーのあり方」の講話があり、部門の参加者81名以上8テーブルの各10数名に分かれ議論が行われた。参加者は、次年度クラブ研修リーダー・会長エレクト(R情報委員長)テーマは①各クラブのラーニング(研修)の現状②ラーニングリーダーの役割とは。について議論をした。新入会員(若手会員)に対しては、研修と銘打っては行っていないクラブが多かった。通常の例会時に年配会員からの声かけを行うようにしている。夜間例会時にチャーターメンバーがフォローをしている。新入会員はRCのことを知りたがっている。ラーニングリーダーとしては意識をもって若手会員に声掛けをする。孤独にさせない努力。また、単年ではなく複数年度にわたりやっていく必要がある。

◇新会員部門 梶木 洋平 会員 ・ 井上 智史 会員

井上会員：部門別会議での新会員部門への出席報告をさせていただきます。

新会員部門は3つの講義を受講した後で、ディスカッションを行うという形式で開催されました。リーダーは鎌倉RCの菅原パストガバナーが務められ、小田原RCの木村さんと山口さんがサブリーダーとして進められました。先ずは、菅原さんよりロータリーの基本として、「ロータリーを楽しもう」との題名での講義がありました。経験豊富で、話も面白く、楽しくなければロータリーではないとの話と、変わってはいけない口